

委員会会議録

(社)滋賀県トラック協会

会議名	第6回「トラックの日」の事業実行委員会
開催日時	平成21年7月14日(火) 14:00~16:20
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3F「研修室1」
出席者	委員15名、事務局5名

協議内容

開会にあたり竹備会長からあいさつがあり、続いて、6月14日実施した「エコ・セーフティドライブコンテスト」の当日、びわ湖放送で流されたニュース及び6月8日、「エコ・セーフティドライブコンテスト」を中心とし、「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ」、「トラックの日」の事前PRとして安田副委員長(副会長)が出演されたFM滋賀の様様を視聴した後、岡田委員長の議事進行により協議に入った。

(1) エコ・セーフティドライブコンテストの反省について

坂口部会長及び中西委員から6月29日開催されたエコ・セーフティ部会の内容について次により報告があった。

- ・ 成績を見たところ昨年よりレベルアップした。11トン車部門は参加者全員がマイスター、内5名がゴールドマイスター、4トン車部門は12名がマイスター、内1名がゴールドマイスターであった。
- ・ 特に4トン車部門のエコドライブの点数にバラツキがあり、原因は通常の4トン車より相当馬力が低く、慣れない車でアクセルを踏み込み過ぎたことによるものであると考えられる。
対策としては、クレフィール湖東に4トン車を新しいものに変えてもらうか、スタート時に助走として100mが必要ではないか、と考えている。
- ・ 司会者は上手く進行を行って頂いた。
- ・ 当日閉会挨拶の前に成績発表を行ったが、挨拶もしづらいし、選手の受け取り方も様々であった。後日、郵送にて各会社に結果を送るだけで良いのではないかと、という意見があり、再度検討を行う。

- ・ エコドライブについては特に問題なくスムーズに行えたが、セーフティドライブについては、役員の業務内容について詳細がわからず、事前にインストラクターと現場責任者との詳細打合せと役員に対して周知する必要があった。また、スラローム運転の担当役員については交代要員が必要であった。
- ・ 低公害車の展示については、今年はハイブリッドの乗用車もあり、又マイクでの案内もあったことから昨年よりはたかさんの見学者があつたが、もう少し見学に来て欲しかった。
また、無料ジュース配布のPRが足らなかった。
- ・ 実況中継について、放送設備の不備があり声も聞きづらく盛り上がりには欠けた。
- ・ 放送機材を備えた本部をコース内のセンターハウスに設置し、協会執行部などの役員席を設けることで選手の励みになる。
- ・ 同一事業者での参加が多く参加事業者は広く参加してもらえるように一事業者2名以内にするなどの対応が必要ではないか。
- ・ 次年度の開催予定日はクレフィール湖東の空いている日と協会の大きな行事が重ならないように考えると第一希望を6月13日(日)、第二希望を6月6日とした。

以上の報告があり、続いて出席委員から次の意見があつた。

- ・ 学科試験の答え合わせや解説を行って欲しい。
- ・ 例えば、セーフティドライブのバック着けで車両が後ろの板に当たっていた人もいたが、役員が挟まれたり、その他事故や怪我のないように対応しなければならない。
- ・ コース内に本部テントを設置することは良いことである。
- ・ 低公害車の展示で今年はハイブリッドの乗用車をお願いしたが、来年は電気自動車を展示してもらってはどうか。
- ・ 次年度の開催予定を6月とされたが、来年は役員改選の時期であり事業のスタートが遅れる可能性もあるので日程について検討する必要がある。
- ・ この意見に対し、2年続けてやって来たので、役員改選で新体制となってもこのコンテストは十分実施出来るのではないかと、との意見もあつた。

その他

- ・ 平型車に貼るマイスターのステッカーはB 5サイズにすることが決まった。
- ・ ゴールドマイスターだけでなくマイスターも認定書にクリアの額を付けることとなった。
- ・ 岡田委員長から、この「エコ・セーフティドライブコンテスト」は鹿児島県トラック協会が全国で初めて行ったので、当協会の実施模様を収録したDVDと関係資料を送って欲しいと事務局に依頼した。また、資料1 - 2の様に業界新聞社に記事を掲載してもらっているが、マイスターの顔写真を掲載して欲しいと依頼していることを述べた。

(2) 平成21年度事業計画(案)策定について

〔クリーンアップ部会〕

山根部会長より、前回実行委員会で意見のあったゴミの分別、危険箇所の対応、セレモニー、広報等について検討して欲しい旨提案があり、協議の結果、次の方向で進むこととなった。

ゴミの分別について

- ・ リサイクルを念頭に行うので、スチール缶・アルミ缶・空きビン・ペットボトルとそれ以外のゴミの2種類に分け、一人一袋ずつ持ちゴミ拾いをするようになった。

続いて、事務局より前回実行委員会で質問のあったスチール缶・アルミ缶・空きビン・ペットボトルについては処分料や運搬費は要らない。5000円で業者に買い取りしてもらえらることを報告した。

また、昨年のゴミの量を考えるとリサイクル可能なゴミ用にコンテナ(8m³)を1つ、その他のゴミで2つ、合計3つのコンテナを取り敢えずは用意する。足りない場合は追加する旨、報告した。

危険箇所の対応について

- ・ 例えば国道161号線等、歩道のないところは活動を行わない。昨年のおりトンネル内は活動を行わない。支部で下見をし、危ないと思われるところについても行わない。
- その他、昨年のように県警から示されている危険箇所についても行わないことを確認した。

参加者の年齢制限について

いくら親がちゃんと見ている小さい子供が急に道に飛び出すことも考え、年齢制限について検討する必要があるとのことから意見を求めたところ次の意見があった。

- ・ 安全対策として年齢制限を設ける必要がなるのではないか。
 - ・ 小さい子供を残して親がクリーンアップ活動に参加出来ない。
 - ・ 親がしっかり見ていれば大丈夫ではないか。
 - ・ 昨年は親の責任を持って参加するということがあったが、協会が主催であることから万が一の場合も考えるべきである。
 - ・ 小学校未満の幼児は極力参加させないようにしてはどうか。
 - ・ 1000人～1200人の動員要請を行うならば幼児に対して何らかの対策を考える必要がある。
 - ・ 幼児の参加は認めないということにして、それでも尚かつ幼児を連れてくる場合は例えば母親は活動に参加しないで幼児の面倒を見るようにしてもらってはどうか。
 - ・ 万が一幼児を連れて来た場合は、例えば植樹の事業に参加させるなど環境に配慮した事業を考え参加させてはどうか。
 - ・ 年齢制限を設け、かつ実施要領に安全を謳ってはどうか。
- ・・・等の意見が出たが、レクリエーション保険の関係で参加者名簿を作成する必要があるので、昨年同様に子供は年齢を入れてもらい、幼児の参加をさせないように対策を行うこととなった。

セレモニーについて

- ・ 昨年は全国スポーツ・レクリエーション祭滋賀との共催であったことから、推進室長に挨拶をお願いし、マスコットのキャプフィーも来てもらい賑やかなセレモニーになったが、今年は全国スポーツ・レクリエーション祭がないことから、環境部を通じて知事、知事の都合のつかない場合は環境部長に来てもらってはどうか。また、昨年のようにキャプフィーやウォータンに来てもらってはどうか。
- ・ 地元守山市長に来てもらってはどうか。
- ・ 特に知事もしくは環境部長に来て頂けるのであれば厳粛なセレモニーにしてはどうか。
- ・ プロの司会やキャラクターなどの演出も必要ではないか。

- ・ 協会執行部と伊地智広報部会長とで昨年行った県環境部との懇談会を行い、その際、嘉田知事もしくは環境部長に当日の挨拶をお願いします。(承諾が得られれば依頼文を持参する)又、県の協賛や後援も併せてお願いします。

・・・等々意見が出、検討されたところ、この懇談会の結果を踏まえて判断することとなった。

なお、地元守山市長に来てもらうかどうかについては協会執行部に一任することとなった。

広報について

前回実行委員会で話があった外部向けのチラシ作成については、県環境部との懇談会の結果も見た上で検討していくこととなった。

〔広報部会〕

伊地智部会長から次により報告が、又岡田委員長と事務局担当から補足があった。

- ・ 昨年はエコドライブに関する標語の募集が中心となったが、今年度は標語の募集は行わず、テレビ・ラジオを中心とした広報活動を行いたい。

びわ湖放送を使った広報(資料のとおり)

- ・ 15秒CM 60本(1ヶ月集中型もしくは2ヶ月に亘り)
- ・ 番組出演(とっておき滋賀545)

FM滋賀を使った広報

- ・ 道路交通情報時に流すCM(最初7秒、最後20秒)計27秒
9本/週 計36本

いずれもトラック協会のイメージアップを狙ったものとする。

なお、びわ湖放送を使った広報では、クリーンアップ活動の事前収録が必要であることから、8月4日(火)午前10時30分より活動風景を収録したいので実行委員で都合のつく方は参加してもらうこととなった。

その他、新聞広報では、10月9日は「トラックの日」であることのPRも行うことが報告された。

次回委員会

日 時 平成21年9月1日(火) 15:00~

場 所 滋賀県トラック総合会館